

調査レポート

2022年7～9月期のGDP(2次速報)予測

～大きな修正はない見込み～

調査部 主席研究員 小林真一郎

12月8日に内閣府から公表される2022年7～9月期の実質GDP成長率(2次速報値)は、**前期比-0.3%(前期比年率換算-1.2%)**と1次速報値から修正はない見込みである。サービス輸入の大幅増加によって外需の前期比寄与度のマイナス幅が急拡大したため、1次速報値では4四半期ぶりのマイナス成長に陥ったが、一時的な要因によるものであり、景気の緩やかな回復基調は維持されている。

なお、今回は通常の1次速報から2次速報への改定に加え、年次推計の結果が反映されるほか、一部に推計方法の変更などが行われる。このため、過去に遡って数値が修正される見込みであり、結果を見るうえでは注意が必要である。

個別の需要項目では、本日発表された7～9月期の法人企業統計の結果を反映させても、設備投資、在庫投資とも大きな修正はない見込みである。また、公共投資は若干上方修正される可能性があるものの、全体への影響は軽微である。一方、個人消費、住宅投資、政府消費の伸び率および外需の前期比寄与度は据え置きとなる。

なお、名目GDP成長率にも大きな修正はない。

	2021年				2022年			前期比(%)	
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	7-9 (1次)	変化幅 (%ポイント)
実質GDP	-0.3	0.5	-0.6	1.0	0.1	1.1	-0.3	-0.3	0.0
同(年率)	-1.3	2.0	-2.5	4.1	0.2	4.6	-1.2	-1.2	0.1
同(前年同期比)	-1.7	7.2	1.2	0.5	0.6	1.7	1.9	1.8	0.1
内需寄与度(*)	-0.4	0.6	-0.7	1.0	0.5	1.0	0.4	0.4	0.0
個人消費	-0.6	0.5	-1.0	2.5	0.3	1.2	0.3	0.3	0.0
住宅投資	0.7	1.6	-1.8	-1.4	-1.3	-1.9	-0.4	-0.4	0.0
設備投資	0.9	1.1	-2.3	0.3	-0.1	2.4	1.5	1.5	0.0
民間在庫(*)	-0.1	0.1	0.2	-0.0	0.5	-0.2	-0.1	-0.1	0.0
政府最終消費	-0.8	0.9	1.2	-0.3	0.4	0.8	0.0	0.0	0.0
公共投資	-0.1	-2.4	-3.6	-3.7	-3.0	1.0	1.4	1.2	0.2
外需寄与度(*)	0.1	-0.1	0.1	-0.0	-0.5	0.2	-0.7	-0.7	0.0
輸出	2.4	3.4	-0.6	0.6	1.1	1.8	1.9	1.9	0.0
輸入	1.9	4.2	-1.3	0.7	3.6	0.8	5.2	5.2	0.0
名目GDP	-0.6	-0.2	-0.7	0.6	0.4	0.8	-0.5	-0.5	0.0
同(年率)	-2.3	-0.7	-2.6	2.6	1.5	3.4	-1.8	-2.0	0.2
同(前年同期比)	-1.8	6.0	0.0	-0.7	0.1	1.3	1.3	1.3	0.0
GDPデフレーター (前年同期比)	-0.1	-1.1	-1.1	-1.2	-0.5	-0.4	-0.6	-0.5	-0.1

(注)内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度
(出所)内閣府「四半期別GDP速報」

主な需要項目別の動向(実質ベース)は以下の通りである。

- ・ 個人消費、住宅投資、政府消費は、いずれも 1 次速報から大きな修正はない見込みである。
- ・ 民間企業設備投資は、需要サイドの統計である 2022 年 7～9 月期の法人企業統計において、季節調整済みの設備投資(ソフトウェアを含む)が前期比+2.4%と、1 次速報時点での想定値とおりに堅調に増加したと考えられ、1 次速報値の前期比+1.5%から伸び率に修正はない見込みである。
- ・ 在庫投資についても、7～9 月期の法人企業統計の結果を反映させても、実質 GDP に対する前期比寄与度は -0.1%に据え置かれよう。
- ・ 公共投資は、9 月の建設総合統計などが反映された結果、1 次速報値の+1.2%から+1.4%に上方修正が予想されるが、全体への影響は軽微にとどまる。
- ・ 輸出及び輸入についても 1 次速報値から大きな変更はないとみられ、実質 GDP に対する外需の前期比寄与度も 1 次速報値の-0.7%のまま据え置きとなるであろう。

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。